



ココロ合せ チカラ合せ RENTAI

2022年1月8日
風早北部防災ネットワーク通信
第42号
発行：風早北部ふるさと協議会防犯防災部
kazahokufuru@gmail.com

↑ご意見・ご質問はコチラまで



前号で紹介の避難スイッチの応用編
として地域団体で考えておきましょう

「防災スイッチ」を学ぼう

台風や地震など大規模自然災害の対策として、住民個々が事前に検討・設定しておくべき、避難行動のタイミング「避難スイッチ【前第41号で紹介済み】」は、各地域の住民団体においてもこれを検討しておくことが防災専門家から推奨されています。

特に、上記避難スイッチを自ら検討する行為が難しい高齢者（インターネット等デジタル操作での災害情報・気象情報の入手が苦手な世代）だけがお住まいの世帯や、成人家族が少ない・子供や高齢者の割合が多い世帯、外国籍で言葉のハンディキャップのある住民など、いわゆる「災害弱者」へのケアについては、是非地域で対応して頂くことが期待されるためです。また、過去に大きな自然災害経験がない風早北部地域で警戒しておくべきことが「内水氾濫」被害への対応です。

地域で所在を把握して欲しい住民は？

- 上記の災害弱者以外では、築年数のある住宅や平屋家屋であるため、垂直避難が難しく屋外避難が必要となる方や避難に他の方の介助が必要な方の居住先を事前に把握しておきましょう。



防災スイッチ策定に必要な地域での収集情報は？

- 地域住民の目・耳・鼻などの知覚や過去の災害歴に関する知見を頼りに、普段見慣れた状況の変化・これまでに体験・経験のない異常や異変を見逃さないようにしましょう。



- 自分達の住む土地の過去の地図や災害伝承情報で調べてみましょう(いずれも国土地理院のHPから関連情報を入手することができます)。



避難の呼び掛けをしてくれる住民はいますか？

- 災害発生前に避難を呼びかけてもらえる住民の方はいますか？



役所の避難指示以上に近隣住民の力も非常に貴重です（昨年夏の熱海市土砂災害でも地域住民の呼びかけで助かった住民は決して少なくなかった模様です）。

内水氾濫の危険性を把握しておきましょう

- 風早北部地域は湖畔や河川沿い、谷津付近での水害・液状化などのリスクが高い一方、それ以外はリスクが低いとの評価です。しかし**土地の高低に関係なく大雨で発生しやすいのが内水氾濫**です。当地域内でもそれなりに発生の危険箇所があります。先ずは柏市の内水ハザードマップで付近に該当箇所があるか否かを確認しましょう。



側溝やマンホールから大量の水が溢れ出ます

柏市作成の内水ハザードマップはコチラから閲覧可能です



- ① マップの解説編(下のURLまたはQRコードでアクセスし閲覧可)

<https://www.city.kashiwa.lg.jp/documents/1534/1.pdf>

- ② ハザードマップ編 (上記に同じ)

<https://www.city.kashiwa.lg.jp/documents/1534/2.pdf>

①



②



- 災害時は該当箇所には決して近づかない、避難ルートにしない(通行を回避する)よう手当を予め講じておきましょう。



団体で決まった事項を実践してみましょう。具体的には多くの住民での避難訓練行動は、感染症拡大の観点で難しく、各家庭単位で避難移動訓練や安否確認訓練(例：災害伝言ダイアル171やLINEの「位置情報」機能の送受信など)を実施してもらうよう呼び掛けましょう。